

2020年度 日立みらいイノベータープログラム 戸田市立喜沢小学校 出張授業レポート

【内容】

実施校	戸田市立喜沢小学校
クラス詳細	2クラス 72人
出張授業実施日	1回目) 7月21日 2回目) 9月15日 3回目) 11月10日 4回目) 12月8日
企業講師所属	株式会社日立システムズ

【本プログラムに参加した講師・先生の声】

企業講師の声



- 子どもたちの成長を感じることができて、充実感を味わえました。単純に楽しかったです。「教育」の経験が企業の「人材育成」にも通じるため、スキルアップにも役立ちました。
- 子どもたちの成長や先生方の努力や想いに触れる事で、温かい気持ちと自らの経験を活かせ、人生が豊かになりました。
- 参加した児童、そして自身に対しても新しい気付きを与えられ、成長を感じることができました。

小学校の先生方の声



昨年度のPBLの経験を活かし、今年度はこのプログラムで昨年の課題を解決することができました。また、講師の先生方のアドバイスがとても参考になりました。この3回の講師の方々からのフィードバックは子供たちの学習にとって、大変貴重なものでした。

【出張授業 1～4回目レポート】

出張授業1回目(動機づけ)

■ 当日の様子

食器が「しずむ」「しずまない」の実験の際には、自分たちの仮説と違う結果に、「先生、縦に食器を入れてみて！」「もっとそっと入れてみて！」など、児童から様々な声が飛び交い、積極的に、楽しそうに実験に参加していました。グループワークにも日ごろから慣れ親しんでいる印象で、お互いの意見を取り入れ、堂々と発表していました。



出張授業2回目(課題設定)

■ 当日の様子

当日は、密をさけ3つの教室にそれぞれ講師がわかれ、児童達はチームごと、順番に教室をまわり、アドバイスをもらいました。1つの教室では、課題設定の内容について、2つ目の教室では調査方法について、3つ目の教室では発表のまとめ方について、講師からコメントをもらい、それをうけて、児童達は自分たちの課題の設定に役立てていました。



【出張授業 1～4回目レポート】

出張授業 3 回目(中間発表)

あるチームの発表例

理想の学校	植物が多い学校
課題	植物の手入れを誰がするか、何を植えたらよいか
解決策	担当表をつくり交代で水やりと手入れをする／アンケートを取って何を植えるべきか決める
講師からのアドバイス	これから先、みんなが卒業した後も、水やりや、手入れができるように、下級生たちにも手伝ってもらえる仕組みをつくるのがポイントだと思います。また、植物といっても、お花だけではなく、木や葉っぱなどのグリーンもあります。季節によって異なる植物もあります。事前に調査をして、アンケートを取りましょう。

【当日の様子】

課題の範囲が広く、どのよに改善すべきか計画を立てられないチームや、アンケート結果で立証できず悩んでいるチームも多くいましたが、課題を絞り込むために計画を立て直しアンケートを取り直すアドバイスを講師から受けていました。お互いのグループの良い点や、わかりにくいところの指摘を受け、真剣にメモをとる様子が印象的でした。授業終了後に、講師に質問に来る児童もいて、一生懸命取り組んでいる様子がうかがえました。



出張授業 4 回目(最終発表)

あるチームの発表例

前回からの改善点	教頭先生に許可を取って、花を植えることができた。1年生がきれいだと言ってくれてうれしかった。またカレンダーを作って、誰がいつ水やりをするか、担当を決めて継続して花を育てられるようにした。花を決めるにあたっては、アンケートを取って、何を植えるかを定めることができた(ビオラに決定)
講評	下級生がキレイと言ってくれたと発表してくれましたが、具体的な結果が体感できたことは、よかったと思います。今後は、サステイナブルな観点から、次の学年にこの素晴らしい活動をどう託すかをもう少し考えて、つないでいってほしいと思います。

【当日の様子】

前回の講師からのアドバイスをうけて、パソコンを駆使して、色や動画やアニメーションなど、様々な手法で見せ方を工夫したスライドや、模造紙に、分かりやすくまとめたグループもあれば、重要なポイントを劇で表現したグループなど、個性のある素晴らしい発表会でした。5年生2クラスが合同で行う2時間に及ぶ発表会でしたが、児童たちは、メモ取りながら真剣に聞いていました。当日会場にこられなかった児童も、自宅からオンラインで、最終発表に参加しました。

